



「家庭支援」

キーワードは、

多職種まざり合って学ぶ

会場開催

第3回 人権教育

第4回 依存症

第5回 不登校

第3回～第5回

教育・保育のアップデートカレッジ



文部科学省発表のCOCOLOプランでは、学校・行政・民間が相互につながって児童生徒を支援するビジョンが示されています。

ただ現実には、教育者・支援者の経験則頼りになっしまったり、「時間が足りない」「人員不足が深刻…」などの事情で支援や学びに時間をかけられない現実もあるのではないのでしょうか。

今年は各回のテーマに対し、【新しい情報】【子どもと保護者への関わり方(家庭支援)】【多職種にわたる講師陣】を組み合わせたプログラムをご用意。

お話上手な講師のつくる楽しい雰囲気も魅力です！受講中はマジメに楽しく、受講後は支援の手立てが広がる、そんな3日間にぜひお集まりください！

※1日単位でもご参加いただけます！

開催日 **2024年8月26日(月)・27日(火)・28日(水)**

対象 教諭、養護教諭、保健師、助産師、保育士、公認心理師など、子どもと子育て家庭に関わる専門職

受講料 各回11,000円(税込)
3日間お申込みの方: **29,700円(税込)**

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区)



各回の詳細は裏面をご覧ください

主催
一般社団法人日本家族計画協会
03-6407-8973 (平日9:00~17:00)

後援
全国養護教諭連絡協議会(予定)



お申込み▶



第3回
生徒に伝える人権の話

8月26日(月) 13:00~17:40

目前のいじめも、将来のハラスメントも性暴力も、全部から守りたいなら——人権意識を高めよう

12年ぶりに大改定された生徒指導提要には、人権について38箇所にわたり触れられています。一方で教育者・支援者自身、公教育で自由や尊重について体系的に学んだ人は多くないのではないのでしょうか。

第3回は【法】【ワーク】【関わり方】の3方面から子どもの権利と学校での人権教育の手法について学び、**皆さんにもワークで体験**していただきます。

内容	講師
青少年の権利と法律	尾崎康
人権教育ワークショップの取り入れ方	栗本敦子
自己決定する力を育む立花高校流“自由”	齋藤真人

講師



尾崎康
県庁通り法律事務所 弁護士

1960年11月生まれ 早稲田大学法学部卒業
裁判所事務官・書記官を経て
1997年 弁護士登録(埼玉弁護士会)
2004年~2009年 裁判官任官
2009年 弁護士再登録(埼玉弁護士会)
2023年度 埼玉弁護士会会長

栗本敦子

Facilitator's LABO(えふらぼ) 主宰

市民団体の事務局職員を経て、現在はフリーランス。ワークショップ(参加型学習)のファシリテーターとして活動。行政・企業・各種法人の人権研修・ハラスメント研修、市民対象の各種講座などの講師、高校・短大・大学で非常勤講師をつとめる。

著書『これからの社会を生きていくための人権リテラシー 高専発! 書く・話す・考えるワークブック』(伏見裕子との共著、北樹出版、2023年)



齋藤真人
学校法人立花学園
立花高等学校 校長

昭和42年 宮崎県生まれ
平成2年 宮崎大学教育学部卒業
平成3年 宮崎県内の中学校教諭として勤務
平成16年 学校法人立花学園 立花高等学校教頭募集に応募し採用
平成19年 同校 校長に就任
平成22年 同校 理事長に就任(校長兼務)
平成28年 同校 校長に専任となる

【座右の教育論】
「共にいる」

“いいんだよ”の魔法の言葉で不登校生徒の自立支援の教育方針のもと心の癒しに重点を置いた教育実践で、心の拠り所を求める子どもや親達から支持されています。

お申込み▶



第4回
ゲーム・ネット依存

8月27日(火) 15:00~18:10

教育現場のつよい味方でありながら課金・不登校につながることもあるIT端末の数々

GIGAスクール構想が進むなか話題となっているインターネット依存とゲーム依存。

学童期~思春期にかけてリスクが高まり、**心身の影響としては睡眠障害・うつ病・合併精神障害が、社会的な影響としては課金トラブル・不登校**が報告されています。

デジタルネイティブである子どもや若年の保護者たちにゲーム・ネットとの上手な付き合い方を伝えるため、教育者・支援者のアップデートをはかります。

内容	講師
児童生徒を取り巻くゲーム・ネット依存	樋口進
依存症予備軍への見立てと家族支援	秋山邦久

講師



樋口進
久里浜医療センター 名誉院長・顧問

1979年東北大学医学部卒。米国立保健研究所留学、久里浜医療センター副院長、同センター院長などを経て現在に至る。
委員等
WHO専門家諮問委員、内閣官房ギャンブル等依存症対策推進関係者会議会長、観光庁特定複合観光施設区域整備計画審査委員会委員など委員多数。
学会等
国際アルコール医学生物学会(ISBRA) 前理事長、国際行動嗜癮研究学会理事、アジア太平洋アルコール・嗜癮研究学会理事・事務局長、日本アルコール関連問題学会前理事長など。
併任
WHO物質使用・嗜癮行動研究研修協力センター長



秋山邦久
常磐大学人間科学部 教授

大阪市立大学大学院修了(学術修士)し、秋田県職員(心理判定員)として児童相談所や福祉事務所、障害者相談所などに16年間勤務。2003年から文教大学大学院、2010年からは常磐大学大学院にて臨床心理士の養成に、2018年度からは公認心理師養成に携わる。
また、弘前大学大学院、桜美林大学大学院の非常勤講師のほか、埼玉県白岡市社会教育委員、秋田県スクールカウンセラー、東京都をはじめ全国の児童相談所や教育委員会、保育所のスーパーバイザーを務めてきている。
さらに、(株)越谷心理支援センターを立ち上げ、現役のセラピストとして臨床実践を行っている。

お申込み▶



第5回
横断的不登校支援

8月28日(水) 13:00~16:10

プラン通りにいかない個々のケースに対応するために

文科省の調査で不登校の要因について「いじめ被害」「教職員からの叱責」と回答した生徒は教員の6~8倍と認識にギャップがあることがわかりました。(2024年3月25日,文科省)

このように不登校を学校だけで把握・対応するのは限界があり連携が叫ばれています。

また、「**登校すること**」「**本人の心身が健やかなこと**」、**どこにゴールを設定するのかも判断が難しい**ところです。これらに対し、民間・学校・行政に入り支援を続けてきた講師が分野の垣根にとらわれず講義します。

内容	講師
横断的な不登校支援のためのリアルなワザ	秋山邦久
不登校に向き合う各職種のための具体的How to	石渡淳嗣

講師



石渡淳嗣
株式会社越谷心理支援センター
代表取締役

聖徳大学大学院臨床心理学研究科前期課程を終了後、越谷心理支援センターへ相談員として入社。
子どもから大人まで、個人から組織まで、様々な支援をおこないながら、埼玉県スクールソーシャルワーカー、埼玉県スクールカウンセラー、埼玉県川口市特別支援教育アドバイザー、などを歴任し、平成28年4月より越谷心理支援センター代表取締役に就任。自身も臨床心理士・公認心理師として変わらず活動を続ける傍ら、自身のノウハウや経験を活かし、後任の臨床心理士・公認心理師の育成にも注力する。
令和4年度より東京都立広尾看護専門学校の非常勤講師を務める。専門分野は、教育、医療、福祉、産業と、多岐に渡り、それぞれの分野にて個別に問題を解決するだけでなく、大規模な講演会講師経験も多数。

※各回講義・講師は変更の可能性があります。

第3~5回(3日間)お申込みの方は
3,300円オフの29,700円!
右のQRコードからお申込みください

